

論 文

家族へのカウンセリング的アプローチの検討

— 逐語録をもとにカンファレンスを行って —

新谷由加里・瀬戸奈穂美・菅野久美子・氷見山真子・中村 風
(金沢医科大学病院)

Nursing research of counseling approach to the family
— Conference according to literal records —

Yukari Shintani, Nahomi Seto, Kumiko Sugano, Shinko
Himiyama and Nagi Nakamura
Kanazawa Medical University Hospital

要 旨

この研究は、患者を支える家族に対してカウンセリング的アプローチを行い、より効果的な看護援助をはかり、同時にカウンセリング的アプローチの効果を評価する目的で行った。その際、逐語録をもとに学習グループでカンファレンスを行い検討した。その結果、以下の結論を得た。

- 1) 学習グループでカンファレンスを持ったことにより、面接内容を客観的に検討する事が出来、問題点や重要点を明確にすることができた。
- 2) 無条件の肯定的尊重の態度を一貫し、聴く姿勢で面接に取り組んだことにより、家族の内面表出が進み心理的自由を取り戻し、拒否的態度から肯定的態度に変化した。
- 3) 看護婦は患者の立場に立つ意識を持ちやすく、その事は家族の思いを聴く姿勢からそれやすい傾向があることがわかった。